

PRESS RELEASE

報道関係各位

2026 年 8 月 19 日

独立行政法人国立美術館 国立国際美術館

国立国際美術館 特別展「笹本晃 ラボラトリー」

牧寛之氏（株式会社バッファロー代表取締役社長）個人からのご寄附により、
特別無料観覧日「ラボラトリー・スペシャルフリーデー」を実施

2026 年 8 月 21 日（金）から 9 月 26 日（土）の金・土曜日、全 12 日間

独立行政法人国立美術館 国立国際美術館では、開催中の特別展「笹本晃 ラボラトリー」において、牧寛之氏（株式会社バッファロー代表取締役社長）個人から 1,000 万円のご寄附を受け、8 月下旬から 9 月にかけて、全 12 日間の特別無料観覧日「ラボラトリー・スペシャルフリーデー」を実施します。



「ラボラトリー・スペシャルフリーデー」は、本展の文化的・学術的価値に深く感銘を受けた牧氏が、「このような展覧会を一人でも多くの方に体験していただきたい」との思いから、当館にご寄附と特別無料観覧日を提案し、実現したものです。

「ラボラトリー・スペシャルフリーデー」には、「笹本晃 ラボラトリー」展に加え、同時開催のコレクション展「開館 50 周年記念プレ企画 コレクション 1：私／行為」も無料でご覧いただけます。

[実施内容]

特別無料観覧日名称：ラボラトリー・スペシャルフリーデー

実施日(全 12 日間)

2026 年 8 月 21 日 (金)・22 日 (土)

8 月 28 日 (金)・29 日 (土)

9 月 4 日 (金)・5 日 (土)

9 月 11 日 (金)・12 日 (土)

9 月 18 日 (金)・19 日 (土)

9 月 25 日 (金)・26 日 (土)

対象展覧会

「笹本晃 ラボラトリー」

「開館 50 周年記念プレ企画 コレクション 1：私／行為」

観覧料 無料

「ラボラトリー・スペシャルフリーデー」当日は、対象の両展覧会を無料で観覧いただけます。

[寄附者 牧寛之氏からのメッセージ]

私は「笹本晃 ラボラトリー」展を、2026 年に日本で開催された最も優れた現代美術展の一つだと考えています。

この展覧会は、笹本晃氏の創造性と、それを実現した国立国際美術館の高い専門性によって生まれた、深く印象に残る体験でした。その文化的・学術的価値に心を動かされ、寄附を決めました。

この寄附を通して、優れた作品を生み出すアーティストへの敬意と、その魅力を社会へ届ける学芸員をはじめとする美術館の取り組みへの感謝を表したいと考えています。

また、このような展覧会を一人でも多くの方に体験していただきたいとの思いから、無料観覧日を提案しました。

この寄附が、一人でも多くの方にこの展覧会を体験していただく機会となり、国立国際美術館がこれからも挑戦的で質の高い展覧会に取り組み続けるための、小さな力になればと願っています。



牧寛之氏（株式会社バッファロー代表取締役社長）
株式会社バッファロー提供

[国立国際美術館からのメッセージ]

展覧会への共感を、より多くの人へ

国立国際美術館を運営する独立行政法人国立美術館は、「我が国における芸術文化の創造と発展、国民の美的感性の育成」を使命としています。

国立国際美術館は、1945 年以降の国内外の現代美術を対象とする国立唯一の美術館として、時代を切り拓く芸術表現を紹介するとともに、現代美術に関する調査研究を行い、その成果を展覧会やコレクション活動を通じて社会へ還元しています。

今回の「ラボラトリー・スペシャルフリーデー」は、展覧会に対する一個人の深い共感をご寄附という形で新たな文化支援につながり、その成果を無料観覧という形で社会へ還元する取り組みです。

公的資金によって実現した展覧会に対する個人からの自発的な支援が、美術館の活動を通じて、さらに広く社会へと開かれていく。その一つのあり方を示す機会となります。



[特別展「笹本晃 ラボラトリー」について]

笹本晃は、彫刻、インスタレーション、パフォーマンスなどを横断しながら、独自の視点から現代社会や人間の営みを捉えてきたアーティストです。

「笹本晃 ラボラトリー」展では、笹本晃の創作における思考と実践を「ラボラトリー（実験室）」になぞらえ、インスタレーションとパフォーマンスを通して、その創造的な探究の過程を紹介します。

会期 2026 年 7 月 19 日（日）－11 月 3 日（火・祝）

開館時間 10:00－17:00、金曜は 20:00 まで ※入場は閉館の 30 分前まで

休館日 月曜日（ただし、7 月 20 日、9 月 21 日、10 月 12 日、11 月 2 日は開館）、7 月 21 日（火）、9 月 24 日（木）、10 月 13 日（火）

主 催 国立国際美術館

協 賛 公益財団法人ダイキン工業現代美術振興財団

特別協力 Take Ninagawa

企画担当 植松由佳（国立国際美術館学芸課長）

企画・監修 岡村恵子（東京都現代美術館学芸員）

国立国際美術館ウェブサイト <https://www.nmao.go.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

国立国際美術館 広報事務局（株式会社プラップジャパン内）

TEL：03-4570-3159 FAX：03-4580-7298

E-mail：nmao-pr@prap.co.jp